

交渉の議事要旨

課 所 等 名	開 催 日 時	開 催 場 所	出 席 者		議 題	発 言 概 要	配 付 さ れ た 文 書 等
			当 局 側	職 員 団 体 側			
経 理 課 契 約 課	平成23年12月21日(木) 16:00~16:20(20分)	室蘭開発建設部 1階会議室	経理課 課長 藤川 良子 契約課 課長 西村 龍一	全開発室蘭支部 経理・契約分会 執行委員長 斉藤 敦志 書記長 岡本 友佳 執行委員 佐藤 弘康 執行委員 植田 康人 執行委員 矢浦 裕敬 執行委員 成田 勝英	当課における超過勤務の縮減について	○職員団体側から 超過勤務の縮減について、どのような考えをもって取り組んでいるのか。また、年度末の繁忙期を迎えるに当たり、超過勤務を命ずる場合は、職員の健康管理についても配慮願いたい。 ○当局側から 超過勤務の縮減については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減、定時退庁日における定時退庁の励行などに努めてきたところである。また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を書しないように考慮しているところであり、今後とも、この点に十分配慮するとともに、きめ細かな業務の進行管理に努めていきたい。	なし
用 地 課	平成23年11月25日(金) 16:00~16:30(30分)	室蘭開発建設部 用地課会議室	用地課 課長 酒井 誠	全開発室蘭支部 用地分会 執行委員長 水野 琢也 副執行委員長 古館 寛晃 書記長 菊地 和恵 執行委員 山内 富美子	当課における超過勤務の縮減について	○職員団体側から 業務改善を図っていることは理解できるが、業務改善だけでは超過勤務の縮減はできないのではないか。超過勤務の縮減について、考え方を聞きたい。 ○当局側から 超過勤務の縮減については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減、定時退庁日における定時退庁の励行などに努めてきたところである。今後も超過勤務の縮減に努めていきたい。	なし
築 港 課 室 蘭 港 湾 事 務 所	平成23年12月14日(水) 17:30~17:40(10分)	室蘭港湾事務所 1階会議室	室蘭港湾事務所 所長 折原 靖夫 総務課長 工藤 久志	全開発室蘭支部 室蘭港分会 書記長 伊藤 邦泰	当事務所における超過勤務の縮減について	○職員団体側から 超過勤務について、事務所全体では平成22年度に比して減少しているが、職員によっては増加している者も見受けられる。業務の平準化、きめ細かな進行管理に努める等、管理者を指導し特定の職員に負担が掛からないようしていただきたい。 ○当局側から 当局としては、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減、定時退庁日における定時退庁の励行など、超過勤務の縮減に努めてきたところである。 今後とも、業務の平準化、きめ細かな業務の進行管理に努め、特定の職員に業務が集中しないよう管理者を指導していきたい。	なし